

第35期第5回常任理事会議事録

日 時：2008年12月15日（月）13時30分～16時30分

会 場：日本気象学会事務局（気象庁 8階）

出席者：新野，藤谷，石田，岩崎，里村，田中，中村，
藤部，以上 8 名（常任理事現在数13名）

欠席者：近藤（裕），近藤（豊），佐藤，中島，中本，
以上 5 名

その他の出席者：鈴木，田沢，萩原（事務局）

議 事

1. 第35期第4回常任理事会議事録の確認
2. 第35期第3回理事会議事録の確認
3. 各委員会からの報告

庶務…転載許可

- 1) 函館海洋気象台長から，隈部良司，佐藤芳昭：水蒸気画像の利用と衛星風，気象研究ノート，第212号，51-63「全文」を「函館海洋気象台要報」への転載。
 - 2) 株式会社クバプロから，M. Nishida, A. Shimizu, T. Tsuda, C. Rocken and R. H. Ware：Seasonal and Longitudinal Variations in the Tropical Tropopause Observed with the GPS Occultation Technique (GPS/MET), JMSJ, 2000, Vol. 78, 691-700, Fig. 6, Alexander, S., T. Tsuda, J. Furumoto, T. Shimomai, T. Kozu and M. Kawashima：A Statistical Overview of Convection During the First CPEA Campaign, JMSJ, 2006, Vol. 84 A, 57-93, Fig. 14, 15, 17, 18, Kodama, Y., M. Tokuda and F. Murata：Convective Activity Over the Indonesian Maritime Continent During CPEA-I as Evaluated by Lightning Activity and Q1 and Q2 Profiles, JMSJ, 2006, Vol. 84A, 133-149, Fig. 10 を「赤道大気の鼓動を聴く」（2009年1月頃発行予定）への転載。
- ・後援名義等使用依頼受付
名称：第24回北方圏国際シンポジウム
- 1) 主催：紋別市，オホーツク海・氷海研究グループ，北海道大学（現代的教育取組支援プログラム）

2) 期日：2009年2月15日（日）～20日（金）

3) 場所：紋別市民会館・紋別市文化会館
（北海道紋別市）

4) 名義：後援

名称：第14回計算工学講演会

1) 主催：日本計算工学会

2) 期日：2009年5月12日（火）～14日（木）

3) 場所：東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）

4) 名義：協賛

名称：第13回「震災対策技術展／自然災害対策技術展」横浜

1) 主催：「震災対策技術展／自然災害対策技術展」横浜 実行委員会

2) 期日：2009年2月5日（木）～6日（金）

3) 場所：横浜国際平和会議場（神奈川県横浜市）

4) 名義：後援

- ・文部科学省から「国と特に密接な関係を持つ法人」に該当するかどうかの問い合わせがあり，該当しないと回答した。
- ・文部科学省から依頼された財団法人未来工学研究所から「博士課程の修了者の進路に関する実態調査」があり，回答した。
- ・文部科学省から「国家公務員再就職予備的調査」依頼があり，9日回答した。

会計…2008年11月分の収支及び現預金検査報告。

天気…Vol.55 No.12（2008年12月号）の掲載記事と，Vol.56 No.1（2009年1月号）予定記事の報告。

- ・執筆要領の見直しを進めていることが報告された。

SOLA…現在処理中の論文の報告。

- ・RSS サービスを開始したことが報告された。

講演企画…公開講演会の位置づけについて議論を行い，大会行事であることを確認した。

- ・学術会議 IAMAS 小委員会から提案があった「若手研究者問題に関する会合」の位置づけについて議論を行い，2009年日本気象学会春季大会の専門分科会とすることとした。
- ・地球惑星科学連合大会の温暖化に関するユニ

オンセッションを、気象学会との合同開催にすることが承認された。

総合計画…第35期評議員候補者に依頼を行い、6名の評議員が承諾した。

- ・「支部活動強化基金」の2009年度予算案作成のため、各地方支部の独自活動について照会を行っていることが報告された。
- ・新・新公益法人会計基準への対応について案が示され、平成22年度から適用することが承認された。
- ・共同利用・共同研究拠点の申請に関わる認定の要請が、筑波大学計算科学研究センター、京都大学生存圏研究所、京都大学防災研究所、東京大学海洋研究所、東京大学気候システム研究センターの5機関からあった。学会で策定した認定のガイドラインに基づいて検討を行い、全ての機関について認定することとした。

学術…気象学会の中期目標について3月くらいを目処に案を出すことを検討している。

教育と普及…気象学会春季大会での公開気象講演会について、準備が順調に進んでいることが報告された。

- ・広報・社会貢献検討ワーキンググループ会議で、社会貢献のための中長期目標案が検討され、それに基づき議論を行った。

国際学術交流…日中韓合同気象学会のセカンドサーキュラーを12月10日に公開したことが報告された。

- ・海外からの招聘講演者について、日本気象学会が旅費等を負担することを確認した。

電子情報…2008年11月の気象学会ホームページのアクセス状況(97,638件)、アクセス数はほぼ昨年並みか1日当たり100件ほど多い状況を保っている。

気象研究コンソーシアム…全球海面水温解析の速報値データの提供を承認したことが報告された。

4. 会員の加入・退会

新入会員13,退会16を承認。12月11日現在、会員数4,037名で通常会員は1,121名。

5. その他

- (1) 新公益法人制度の法人税等について報告があった。
- (2) 天気・気象集誌・SOLAの優れた論文に対する賞について議論を行った。

平成21年1月22日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 石田 純一